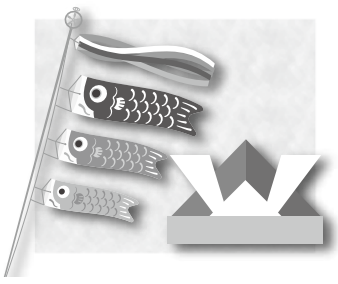
一般質問

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。

３月25日、28日から30日の４日間にわたり、33名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをただしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。



玉ちゃんバス南ルート大幅減便

秋田しづか（まちだ市民クラブ）

問　コロナ禍で投票所での投票が困難な方の対応は。

選挙管理委員長　21年６月に、特例郵便等投票が制度化されました。外出自粛要請やホテル等の施設への隔離、停留のため投票所での投票ができない方に対して、特例として郵便により投票できる制度で、21年７月の都議会議員選挙から実施されています。

問　サポートルームを利用する児童生徒の通常の学級での支援体制に地域の活用を。

学校教育部長　地域コミュニティー、学生ボランティアを含め支えていただく必要があると考えています。

問　玉ちゃんバス南ルートが25便から５便に減便となった。今後の検討に地域住民の声を取り入れるべきでは。

都市づくり部長　地域協議会をはじめとした地域の声を聞きながら検討していきます。

児童相談所の設置について

石川好忠（自由民主党）

問　町田市民の相談状況は。

市長　町田市を管轄する都立八王子児童相談所が受理した相談のうち、町田市民からの虐待に関する相談件数につきましては、19年度685件、20年度703件でした。内容といたしましては、身体的虐待やネグレクト、心理的虐待などでございます。

問　設置による効果は。

市長　市内に児童相談所が設置されることにより、これまで以上に子ども家庭支援センターをはじめ市の関係機関と密接な連携が図られ、児童虐待等に対する迅速かつ一貫した対応や児童相談所機能を活用した包括的な相談支援の提供が可能になると考えております。これらのことから、市民の皆様にとりまして、市内で専門相談や手続ができるようになり、利便性の向上が図れると考えております。

相原駅周辺まちづくりの推進を

おぜき重太郎（諸派）

問　駅前拠点の整備を進めるにあたり自転車駐輪場や線路沿いの市有地についてどのような活用を考えているか。

都市整備担当部長　東口駅前広場街区の一体的な土地利用の検討と併せ、地域や駅利用者の声を伺いながら最適な活用方法を検討していきます。

問　ＪＲ東日本との協力関係が必要と考えるが。

都市整備担当部長　新たな駅前広場の用地取得に関する協議を進めています。駅東口街区の一体的な土地利用の検討に当たっても、協力してまちづくりを進めていきたい。

問　地域の拠点性や商業機能の向上を図るにはどのような機能を導入するイメージか。

都市整備担当部長　地域の方と大学生などが交流、活動する施設やレストランやカフェ、スーパーなどの商業施設などをイメージしています。

未来につなぐ脱炭素まちづくり

佐藤和彦（まちだ市民クラブ）

問　水素エネルギー普及のために、どのような施策を展開していくのか。

市長　奨励金制度を活用した家庭用燃料電池の導入支援や水素ステーション誘致など、水素エネルギーの積極的な利活用を推進してまいります。

問　再生可能エネルギー普及のために、どのような施策を展開していくのか。

市長　市内における設備導入を最大限に図りながら、家庭や事業者への導入支援などを進めてまいります。さらに、再生可能エネルギー利用拡大を創出し、実証実験等も取り入れながら進めてまいります。

問　認知症サポーター同士のつながりの場をつくっていくということだが、どのようなものか。

いきいき生活部長　22年度は地域で支援活動を行っていくための働きかけを始めたい。

ウクライナ危機命を貴ぶ姿勢を

今村るか（まちだ市民クラブ）

問　市内在住のウクライナとロシアの方、これから避難されて来る方への支援をどう取り組まれるのかを問う。

政策経営部長　様々な連携を図りながら情報を収集し、発信も一元的にしていきたい。

問　市内経済活動と雇用に影響が予測される。市内企業と雇用を守る対策を求む。

政策経営部長　国や都などが相談窓口の設置や緊急対策事業を実施し、市では情報についてホームページで発信しています。国や都の動向を注視し、情報発信していきたい。

問　市民の「命」を守る市長はウクライナ危機を看過してはならない。決意を問う。

市長　多くの分野にまたがるもので、様々な関係機関との連携も必要となります。そうした意味で、市長としてリーダーシップを発揮して対応をしてまいりたい。

園外保育の質／不登校要因把握

矢口まゆ（諸派）

問　園庭がないもしくは狭い保育園が多く、園外保育の充実という視点での公園整備が必要。６月議会で提案したがその後の取組状況は。

子ども生活部長　市内認可保育園等に対して、公園利用に関するアンケート調査を実施しました。結果を都市づくり部と子ども生活部において共有し、今後、代替園庭となっている公園の遊具の交換が必要になった際には両部で調整するなど、公園における保育活動の質の向上を図るため、連携して対応していきます。

問　現在把握している不登校要因は教員が回答したものである。ＮＨＫ調査のように子どもが回答する匿名アンケートを実施すべき。

学校教育部長　どのようなＮＨＫの調査か、詳細が分かりませんので、それについての確認はさせていただきます。

シルバーパス適用／喫煙対策を

小野寺まなぶ（公明党）

問　都県境を運行するバス路線でのシルバーパス適用について、市の考えはどうか。

いきいき生活部長　東京都シルバーパスを利用できる路線バス等の区間は、東京都シルバーパス条例及び同条例施行規則の定めによるものであり、東京都シルバーパス制度は一般社団法人東京バス協会により適切な運営が行われているものと認識しています。

また、都は、シルバーパスのアンケートを実施し、ニーズも調査しています。引き続き都の動向を注視していきます。

問　相原駅の喫煙対策について、市としてできる取組は。

環境資源部長　相原駅周辺の喫煙マナーに対する啓発活動について、駅周辺での路上喫煙やポイ捨て防止を呼びかける啓発看板の設置を行い、喫煙マナー向上のための啓発活動を進めていきます。

市長給与に関して市長の見解は

吉田つとむ（無所属）

問　今回の市長選挙で、一部の候補者がその多寡を論じるものがあったが、石阪市長はどのような見解・主張をしていたか。

市長　私自身が市長給与について期間中にコメントをしたことはございません。そして、議員のお尋ねについてでございますが、この給与について、私が何かコメントをするということもございません。

問　町田市中心街に大きな遊技場が増大し、明るい「プレータウン」、あるいは「遊都町田」化しているが、「商都町田」と合致しているか。

道路部長　商業が盛んで、市が栄えてきたことは事実です。質問の場所について、中心市街地のまちづくりの計画でも、にぎわいを盛んにやっていくところです。商業の業種、業態を制限、規制するものでもないというところです。

児童相談所／歩きスマホ／交通

おんじょう由久（公明党）

問　児童相談所が有効に機能する体制と人づくりは。

子ども生活部長　児童相談所の設置に向けて都に要望し、設置できた際には、相談所とともに人づくりや連携体制等を協議していきたい。

問　歩きスマホ禁止条例制定の考えは。

防災安全部長　他市の動向や条例の効果などを注目しながら、今後、研究を続けていきたいと考えています。

問　公共交通再編が必要な時期にあるが、新たな取組は。

都市づくり部長　自家用車から公共交通への移動の軸足を転換するための啓発を行うことで、積極的な利用を促進していきます。また、バス路線網再編は利用状況、幹線道路整備状況などを勘案し検討するとともに、多摩都市モノレールや小田急多摩線延伸を見据えて取り組んでいきます。

歩きスマホは危険